

# 議員定数1名減の

昨年9月発足の「那須町議会議員定数等検討特別委員会」にて、様々な角度から活発な議員間討論を結果報告を6月定例会にて行い、続けて定数減に関する条例改正の議員提案を行いました。議決の

## 6月11日 審査報告

### 報告書より抜粋

議員は身を削る思いで議員活動することが町民から求められている。定数の多少に関わらず議員間討議を活性化し、町民の付託に応えることが必要である。今はまだ必要最小限の定数削減に留めるべきであり、減員による補完機能としての議会サポーター制度など、導入検討すべきである。

**報告内容** 定数 1名減  
報酬 現状維持



### 討論

松中議長に報告書を提出する  
荒木委員長と齊藤副委員長 ▶

#### 竹原議員

反対

いま議会に求められているのは真の議会改革である。定数改正の前に議会本来の機能を果たし、町民の不信感を払拭することが先決である。よって委員長報告に反対する。

#### 小林議員

反対

議員は自らを律し、身を削る思いで活動すべきである。町民の気持ち、行政の立場になって考えるべきである。よって委員長報告に反対する。

#### 齊藤議員

賛成

議会自体の資質向上に取り組むのは当然である。現状がベストなのか、常任委員会制度の見直しも検討した結果、委員長報告に賛成する。

#### 茅野議員

賛成

議会改革のさらなる推進、積極的な情報公開の検討、住民参加の検討など早急に調査研究の必要がある。そのためには一定の定数を確保する必要があり、委員長報告に賛成する。

## 採決

賛成 11名  
反対 3名

## 6月11日 議員提案

### 「那須町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」

質  
疑

問 小野議員

そもそもなぜ議会改革第二部会でまとめた「定数と報酬に関する報告書」から今回の特別委員会が設置されたのか。

答 平山議員

法律に則った、責任ある特別委員会で集中的に協議をすることが重要であることから、議員全員で協議し、定例会にて賛成多数により議決された。

問 竹原議員

議会基本条例14条から、今回の特別委員会の報告は改正理由の説明に当たらないと考えるが。

答 平山議員

この特別委員会で議論を尽くし表決を導いてきた。その報告であるので十分に説明に値すると考える。

採  
決

様々な質疑の受け答えを経て、討論および採決へ

<討論者>反対2名 賛成2名 <採決>反対3名 賛成11名

## 可決!

詳しい賛否状況および討論内容はP5をご覧ください。